



平成 21 年 3 月 12 日

全日本ロードレース選手権 参加者各位

(財)日本モーターサイクルスポーツ協会  
ロードレース委員会  
全日本プロモーション委員会  
A.R.T

09 全日本ロードレース選手権の運営変更について

昨年末からの世界的な経済不況を踏まえ、「全日本ロードレース選手権」の運営方法について、参戦しやすい、運営しやすい環境を整備の見直しを行い、エンタラントおよび主催者、サプライヤーなどの経費負担削減を目的に以下の改訂を行う。

**(1) 特別スポーツ走行**

大会ウィークの木曜日に実施される「特別スポーツ走行」は当初 4 大会につき予定されていたが、第 1 戦の筑波大会のみ「マシンのセットアップと練習時間の確保のため」に開催し、その他大会（AP、SUGO、鈴鹿（最終戦））の木曜日のスポーツ走行は、エンタラントのコスト削減を目的にキャンセルする。

**(2) ART 走行について**

従来金の曜日スポーツ走行（ART 走行）は、一部有料制に変更する  
金曜日の走行は、2 回走行のうち、どちらか 1 回目をスポーツ走行として有料とし、残りの走行を ART 走行と定め、会員と非会員の別料金を設定する。スポーツ傷害基金は、従来どおり適用される。  
詳しくは、大会特別規則または、公式通知にて公示される。

**(3) 賞金の見直しについて**

大会賞金総額を見直し、同時にクラスごとの参加台数に応じた台数変動制を採用する。  
詳しくは、大会特別規則または公式通知で公示される。

**(4) ST600 タイヤ使用本数の変更**

ST600 クラスのタイヤ使用本数は、「予選・ウォーミングアップラン・決勝」を通じて走行距離などに応じた使用本数が定められる。使用本数は、大会ごと、予選回数に応じて設定され公式通知にて発表される。

予選走行が 1 回の場合の使用本数（ウォーミングアップ、決勝含む）	使用本数 2 セット
予選走行が 2 回の場合の使用本数（ウォーミングアップ、決勝含む）	使用本数 3 セット



(5) J S B 1000 ノックアウトフォーマット統一と追加タイヤの撤廃について

J S B 1 0 0 0 クラスのノックアウトフォーマットを統一し、最終セッション進出者 12 名に対する **ノックアウト予選方式の追加タイヤ 1 セット** を廃止する。

適用：国内競技規則 付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 ( p 106 ) 22-2-3 項

(6) MFJ グランプリ ( 鈴鹿 ) について

**GP 250 クラスの開催について**

全日本ロードレース選手権シリーズの最終戦 MFJ グランプリ ( 鈴鹿サーキット ) において GP250 クラスの決勝 2 レース制の開催が決定した。

- ・ 出場資格は、付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 ( p 100 ) 4-3 項が適用される。
- ・ ポイント付与は、以下のとおりポイントが付与される。
  - 1 ) 決勝 2 レースの場合のポイントは、レースごとにポイントが与えられる。
  - 2 ) MFJ グランプリ大会は、規定のポイントに 3 点加算される

**GP - MONO 参加資格期日変更について**

国内競技規則書 付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 ( p 100 ) 4-3 項 の MFJ グランプリの参加資格の期日を以下のとおりに変更する。

- ・ 鈴鹿サーキットで開催される地方選手権当該クラス上位 3 名 ( 繰上げは行わない ) 時期は、**6月28日 8月9日**時点のランキングをもとにする